

オーストラリアの芸術科カリキュラム（音楽）における 多文化教育の視点

— 初等段階に着目して —

井内 志穂

(本講座大学院博士課程前期在学)

The Arts (Music) of Australian Curriculum: Elementary Stage of Multicultural Education

Shiho INOUCHI

Abstract

This study is intended to consider a viewpoint of multicultural education in the arts (music) education, using the Australian curriculum of the arts (music) as object of the study.

As a result, it was shown that in all Australian states some activities of music such as listening to music or singing songs should be multicultural.

Furthermore, there was a state where activities which created or appreciated were used as the basis of recognition and talking about the backgrounds of the music of the various cultures.

The heart of learning about multicultural education in the field of Australian music is aimed at recognizing music after experiencing various culture's music.

1. 研究の背景と目的

国際化の進展に伴い、長期的にみると我が国でも外国人登録者の総数は増加している。それに伴い、学校現場においても外国人児童・生徒の在籍数は増加し、多様な文化的背景をもつ子どもたちへの教育的配慮が必要とされている。

オーストラリアはその国家の歴史から、多様な民族・人種が存在する国の一つである。見世（1994）によれば、オーストラリアでは公的に「多文化主義」を掲げており、教育の領域においても、異なる文化出身の人々を互いに尊重しあうことを目指す異文化間教育や、不利な立場とされてきたエスニックマイノリティの子どもたちに配慮した教育など、公正な多文化主義に基づく教育を推進している。

2005年に芸術文化審議会（Cultural Minister's Council）と教育等に関する審議会（Ministerial Council for Education, Employment, Training and Youth Affairs）が共同で「教育と芸術に関する声明」（National education and the arts statement）を発表した。この声明は、子どもたちにオーストラリアの活気ある文化生活を正しく理解させ、積極的に参加する機会を与える点で芸術が重要であること、そしてそれは効果的にコミュニケーションを図ることができるものであり、世の中の変化にうまく対応できる柔軟な人間を育成することを促進するものであることを強調している¹⁾。これを実証する原理として、「芸術と教育の協力が地域社会のアイデンティティと地方文化を強化する」ことを挙げ、芸術が先住民とトレス海峡の島々の文化を維持するために不可欠であること、芸術と教育の協力を通して、文化的多様性の富を称え、文化的知識と表現の伝統を21世紀に関連する方法で強化することができることを述べている²⁾。

本研究では、オーストラリアの芸術科（The Arts）カリキュラムの中から音楽（Music）を取り上げ、芸術科、音楽分野それぞれの多文化教育に関する記述を精査し、芸術（音楽）教育における多文化教育の視点について考察することを目的とする。

2. 研究の方法

オーストラリアでは、初等・中等段階の教育に関しては各州・直轄区の教育省が管轄を行っている。各州・直轄区は、ナショナル・カリキュラムを指針とし、独自のカリキュラムを作成している。本研究では国家レベルの芸術科ナショナル・カリキュラムである *A statement on the arts for Australian schools* (1994) と、*The arts – a curriculum profile for Australian schools* (1994) および、州レベルのカリキュラムである 6 州 1 準州（ニューサウスウェールズ州、北部準州、クイーンズランド州、南オーストラリア州、タスマニア州、ヴィクトリア州、西オーストラリア州）のカリキュラムから、多文化教育に関する視点に注目し、比較検討を行う³⁾。

3. ナショナル・カリキュラムにおける記述

(1) *A statement on the arts for Australian schools* における記述

Statement には、学習内容や方法、目標などが記されている。学習内容は芸術分野ごとに Band という学年群を用いて区分されている。Band A は第 1～第 3 学年、Band B は第 4～第 6 学年に相当する。

芸術科の多文化に関する記述としては、表 1 に示すように「社会と文化の関係」「アボリジニとトレス海峡島民社会の芸術」「オーストラリアにおける文化の多様性」の 3 点が挙げられている。「社会と文化の関係」では、社会的・文化的コンテキストにおける芸術の重要性とその機能が示されている。「アボリジニとトレス海峡島民社会の芸術」では、オーストラリアに固有の文化について認識を深め、学校教育で扱う必要性が示されている。「オーストラリアにおける文化の多様性」では、多様な文化を認識、尊重するとともに、芸術科の教育を通して多様な文化集団との関わりをつくる重要性が示されている。

表 1 Statement における多文化に関する記述

社会と文化の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術はさまざまな形を取り、社会的、文化的コンテキストにおいて実用的で価値があるものとして理解され得る。芸術の富と多様性、社会的文化的アイデンティティの感覚を形成する役割は認識され重要視されなければならない。 ・芸術は社会的、文化的、政治的、宗教的価値を構成し強化し変化させる。 ・芸術は、特定の社会制度や文化の中で発展するため、芸術の性質と役割を理解することは、歴史観や異なる文化集団によって多様である。
アボリジニとトレス海峡島民社会の芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの学校において、アボリジニやトレス海峡島民の芸術形式の性質について扱う。芸術がアボリジニやトレス海峡島民にとってのコミュニケーションの形であり、崇高な表現であることを認識するべきである。学校における芸術プログラムでは、彼らの芸術表現や芸術の多様性を認めなければならない。
オーストラリアにおける文化の多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの文化の多様性は、すべての段階における教授にとって特別な意味をもつ。 ・芸術は文化的アイデンティティを形づくることを促進し、文化集団の信条や伝統に活気を喚起し与える。 ・芸術科カリキュラムはすべての文化集団と文化形式の伝統を認識し尊重するとともに、表現と高揚を与えるべきである。この試みは文化的な祭典への参加や生徒がさまざまな文化の演奏家と接触して学校へ呼ぶことを通して地方の文化集団と強い結びつきを作る。

(*A statement on the arts for Australian schools* をもとに筆者作成)

音楽分野の多文化に関する記述としては、Band A において地域にいるさまざまな文化集団出身の子どもの歌を聴き、演奏し、音楽的特徴を述べるのが、Band B においてオーストラリアのさまざまな文化集団を象徴する作品の音楽的、文化的特徴の違いを認識し、説明することが、活動内容として記されている。

(2) *The arts – a curriculum profile for Australian schools* における記述

Profile は「創作・制作・発表」「芸術批評と美学」「過去と現在の状況」から構成されている。音楽分野の「過去と現在の状況」における多文化に関する記述をまとめたものが表 2 である。到達目標は芸術分野ごとに学年による段階別で記されており、レベル 1 からレベル 4 が初等教育段階に相当する。

表2 「過去と現在の状況」における多文化に関する記述

レベル	目標	活動例
レベル1	記述なし	記述なし
レベル2	記述なし	記述なし
レベル3	さまざまな文化の音楽について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏した歌や器楽作品の音楽的特徴について話し合い、それらの特徴と特定の文化とを関係づける。 ・オーストラリアの作曲家の作品を聴取し作品について話し合う。 ・文化や時代が所有する選ばれた音楽を聴覚的に認識する。(アボリジニのロック音楽など)
レベル4	特定の時期、場所、文化における音楽作品の顕著な特徴を認識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽的特徴の顕著な違いを認識しながら、さまざまな時代、場所、文化における音楽の例を比較する。 ・オーストラリアの音楽家(演奏家と作曲家)の作品と演奏を聴覚的に認識し、音楽様式を大まかに分類する。 ・さまざまな社会、文化集団の音楽で使われる発声法について話し合う。(アボリジニの現代音楽など) ・生徒たちが聴いたり演奏したりした現代音楽の様式を認識するために、顕著な音楽的特徴を認識し述べる。 ・オーストラリア社会における音楽の役割を述べる。

(The arts - a curriculum profile for Australian schools をもとに筆者作成)

レベル1とレベル2には多文化に関する記述はない。レベル3では、音楽と文化についての内容が、レベル4では、音楽と社会についての内容が示されている。

目標について、レベル3では「さまざまな文化」と記述されているが、レベル4では「特定の文化」と記述されている。また、活動例について、レベル3で音楽を認識することが記述され、レベル4で音楽を比較、分類することが記述されており、レベルが上がるにつれ目標、活動例はともに焦点化され、質の高まりがみられる。

Statementでは、アボリジニとトレス海峡島民の芸術に特化した記述があるが、Profileにはない。しかし、Profileにもオーストラリアの音楽家の作品や演奏を扱う記述があるため、この記述がアボリジニとトレス海峡島民を含んでいると考えられる。

Profileの目標は大まかな記述となっているが、活動例は詳細に記されており、目標を達成するための指標となっている。

4. 各州のカリキュラムにおける記述

ナショナル・カリキュラム(Statement)には、「芸術は文化的アイデンティティを形づくることを促進し、文化集団の信条や伝統に活気を喚起し与える」という記述があるが、各州にはほとんど記述が見られず、ニューサウスウェールズ州と北部準州に記されているのみである。ニューサウスウェールズ州では、芸術科において「芸術を通して、アボリジニやトレス海峡島民を含むオーストラリア文化の多様で多元的な価値は民族の利益と抱負、アイデンティティを表す」、音楽分野において「さまざまな時代、場所、文化からなる広範囲のレパートリーは生徒に、自己表現、個人意識、文化的アイデンティティ、彼らを取り巻く世界の理解、音楽の概念の理解の発展を可能にするさまざまな音楽的な経験を与える」と記述されている。北部準州では、「(芸術は)社会的で文化的なアイデンティティを形成する点でとても重要な役割を担う」と記述されている。

また、ナショナル・カリキュラム(Statement)には、「芸術科カリキュラムはすべての文化集団と文化形式の伝統を認識し尊重するにとどまるべきではなく、表現と高揚を与えるべきである」という記述があり、学習においては文化の伝統を認識し尊重するだけでなく、学習で得たものを生かして自身で表現し外に出していくことが示されているが、各州のカリキュラムにおいては自他の文化について、「認識する」、「話し合う」といった活動にとどまるものが多く、音楽的な表現活動に直接つながるものは西オーストラリア州にしかみられない。西オーストラリア州では、「生徒たちは幅広い音楽形態と様式を経験する。彼らはオーストラリア音楽と他の生徒が作った音楽を含めたさまざまな文化と時代からレパートリーを経験する。これらは生徒自身の想像的活動に反映される」と記されている。すなわち、さまざまな文化や時代の音楽を経験し、そこで学んだ音楽形態や様式を自身の創作に活用するといった内容の記述が認められる。

ナショナル・カリキュラム (Statement) にはアボリジニやトレス海峡島民に特化した記述があったが、州レベルのカリキュラムではこのような具体的な記述は少なく、漠然と「さまざまな文化」と記されるものが多い。芸術科全般でアボリジニもしくはトレス海峡島民に関する記述があるのは、ニューサウスウェールズ州、クイーンズランド州、西オーストラリア州の3州である。音楽分野では、ニューサウスウェールズ州、北部準州、クイーンズランド州、南オーストラリア州の4州に記述がみられる。

州によってカリキュラム自体の量が異なるため、芸術科の記述量や音楽分野の記述量、多文化に関する記述量も州によってばらつきがある。各州における芸術科と音楽分野の記述量の比重もまちまちである。ニューサウスウェールズ州はカリキュラム自体の量も多く、多文化に関する記述も多く見られる。西オーストラリア州はそれほどカリキュラムの量は多くないものの、多文化に関する記述は多い。

5. 考察

自国オーストラリアを含むさまざまな文化の音楽を聴いたり、歌ったりするなどの音楽活動はすべての州で行うことが示されている。確かに全州で多文化に関する基礎としてさまざまな文化に触れてはいるものの、それだけでは多文化教育としては受動的・消極的な活動である。これは「第1段階」といえる。そこで、さらにさまざまな文化の音楽の背景を認識したり話し合ったりする活動が展開されている。これは「第2段階」といえる。例えば、ニューサウスウェールズ州、南オーストラリア州、タスマニア州では、単にさまざまな文化の音楽に触れるなどの第1段階の活動経験を、同一学年で、あるいはそれ以降の学年で、音楽の特徴などを認識し、熟考したり議論したりといった発展的な第2段階の活動につなげており、思考を用いた音楽活動が行われることがわかる。さらに発展的な音楽活動として、その経験を自身の創作や鑑賞に生かすといった第3段階の活動が考えられるが、このような積極的・能動的な活動は前述のとおり、西オーストラリア州にのみ記述されるにとどまっている。

表3 各州における多文化に関する音楽的活動の段階

段階	第1段階	第2段階	第3段階
州	音楽に触れる活動 (歌う、聴くなど)	音楽の思考的な活動 (音楽を認識する、議論するなど)	音楽を表現する活動
ニューサウスウェールズ州	○	○	
北部準州	○	○	
クイーンズランド州	○	○	
南オーストラリア州	○	○	
タスマニア州	○	○	
ヴィクトリア州	○	○	
西オーストラリア州	○	○	○

*ヴィクトリア州は音楽分野の多文化に関する記述がみられないが、芸術科全体での内容からは第2段階までを目標としている。

すなわち、オーストラリアの音楽分野の多文化に関する学習では、さまざまな音楽に触れた上で音楽を認識することを中心的な目標としているといえる。

教育と芸術に関する声明やナショナル・カリキュラムにも表記されるように、オーストラリア国家はアボリジニやトレス海峡島民の文化を維持しようとする姿勢を見せている。ただし、彼らの音楽文化は、オーストラリアの多文化を象徴するものではあるが、そのみに収束するものではない。地域社会の実情を考慮して作られている各州・直轄区のカリキュラムから見てとれるのは、オーストラリア社会の掲げる「多文化」が、200以上もの国々や言語集団の人々からなる共生社会における文化であり、オーストラリアに固有の文化を含めて複雑化し、発展する多様な文化すべてを包括するものを意味していることである。

註

1) 教育・幼児発達・青少年に関する審議会 (MCEECDYA) ウェブサイト

http://www.mceetya.edu.au/mceecdya/national_education_and_the_arts_statement,20981.html
(accessed 2011-10-18)

- 2) Cultural Ministers Council & Ministerial Council for Education, Employment, Training and Youth Affairs, *National education and the arts statement*, p.7.
http://www.curriculum.edu.au/verve/_resources/National_Education_Arts_Statement.pdf (accessed 2011-10-18)
- 3) 各州の初等教育は、クイーンズランド州・西オーストラリア州については第1学年から第7学年、その他の州では第1学年から第6学年である。

ナショナル・カリキュラムおよび各州のカリキュラム

- ・ Curriculum Corporation, *A statement on the arts for Australian schools*, Curriculum Corporation, 1994.
- ・ Curriculum Corporation, *The arts—a curriculum profile for Australian schools*, Curriculum Corporation, 1994.
- ・ Board of Studies NSW, *NSW Creative Arts K-6 Syllabus*, 2006.
http://k6.boardofstudies.nsw.edu.au/files/arts/k6_creative_arts_syl.pdf (accessed 2011-10-21)
- ・ Department of Education and Training, Northern territory Government, *NT Curriculum Framework: Arts Learning Area*, 2007.
<http://www.det.nt.gov.au/teachers-educators/curriculum-ntbos/ntcf> (accessed 2011-10-21)
- ・ Queensland Studies Authority, *Queensland Curriculum, Assessment and Reporting Framework: The Arts*, 2007.
<http://www.qsa.qld.edu.au/7262.html> (accessed 2011-10-21)
- ・ Department for Education and Child Development, Government of South Australia, *South Australian Curriculum Standards and Accountability Framework: Arts*, 2001.
http://www.sacsa.sa.edu.au/ATT/%7BF51C47E3-B6F3-4765-83C3-0E27FF5DD952%7D/R-10_Arts.pdf (accessed 2011-10-21)
- ・ Department of Education, Tasmania, *The Tasmanian Curriculum Arts: Curriculum Area (K-10 Syllabus and support materials)*, 2008.
<http://www.education.tas.gov.au/curriculum/standards/arts/syl-arts-all.pdf> (accessed 2011-10-21)
- ・ Victorian Curriculum and Assessment Authority, *Victorian Essential Learning Standards: The Arts*, 2007.
<http://vels.vcaa.vic.edu.au/vels/arts.html> (accessed 2011-10-21)
- ・ Government of Western Australia Curriculum Council, *The Arts Learning Area Statement*, 1998.
http://www.curriculum.wa.edu.au/internet/Years_K10/Curriculum_Framework (accessed 2011-10-21)

＜資料＞

各州カリキュラムにおける多文化に関する記述を、芸術科全体および音楽分野に分けてまとめた。芸術科全体については理念、学習目標／目的、学習内容、成果、指導上の留意点の5つの項目に、音楽分野については、理念、指導上の留意点の2つの項目にまとめた。なお、学習内容の詳細を別にまとめた。表中では、ニューサウスウェールズ州をNSW、北部準州をNT、クイーンズランド州をQLD、南オーストラリア州をSA、タスマニア州をVIC、西オーストラリア州をWAと表記する。

芸術科全体

理念	学習目標／目的	学習内容	指導上の留意点
<p>・芸術形式は人々に、オーストラリアで、そしてほかの地域や文化において、崇高で世俗的な信条に於いての社会的で文化的な価値を探り、価値や信条を高め、共有し、交渉するするための機会を与える。</p> <p>・芸術を通して、アボリジニやトレス海峡島民を含むオーストラリア文化の多様な価値は、アイデンティティを表す。</p>	<p>・さまざまな時代と文化的背景における芸術の価値、文化的な影響と精神的な価値、伝統・民族の起源・ジェンダー・社会問題・場所の関連、視覚芸術、音楽、演劇、舞踊の創作、演奏、鑑賞における技術変化を認識することができる。</p> <p>・さまざまな社会と文化集団、さまざまな宗教や信念をもつ人々と障がいをもつ人々の見識を尊重することができる。</p> <p>・アボリジニの芸術の経験が生徒のオーストラリア社会の理解、現地と非現地のオーストラリア人の和解に貢献することができる。</p> <p>・オーストラリアの文化的な生活にどれほど貢献し、学校にいる間の視覚芸術、音楽、演劇、舞踊への参加を通して芸術と文化的な活動に批判的な消費者に対し反応することができるかを認識することができる。</p>	<p>記述なし</p>	<p>・計画とプログラムミングにおいて、教師はアボリジニとトレス海峡島民に関連した問題を考慮しなければならない。学生がオーストラリアの社会を理解することに、そして、現地と非現地のオーストラリア人の和解に、アボリジニ民族の芸術の経験が貢献する点に、教師は注意しなければならない。芸術におけるアボリジニとトレス海峡島民の現代的な実践は、発展中の伝統を熟考する。Early Stage 1からStage 3まで、すべての学生がアボリジニとトレス海峡島民の作品を経験しなければならぬ。教師は、彼らが伝統的な芸術と文化に関する知識伝達を促進すること、長老たちが芸術と文化に関する伝統的な知識を守っていることを覚えておく必要がある。アボリジニの家族と社会は、カリキュラムのこの重要な展開に貢献することに関係してはならない。</p> <p>・教師は、ジェンダーと多文化主義に関連した問題も考慮しなければならない。</p> <p>・シラバスは、オーストラリア、アジア、ほかの地方と文化において調査される芸術のさまざまな文化的実践に多くの機会を提供する。これらの経験も、生徒たちの文化的理解とほかのものに対する寛容性を広げる。</p>

NSW

NT	<p>・芸術は社会、文化、政治、宗教に関する価値を構成し、強化し、要求し、変化させるとの促進する。</p> <p>・芸術は異なる社会や文化背景において行われ、評価される社会的なアイデンティティの感覚を形成する点でとても重要な役割を担う。</p>	<p>社会的、文化的、歴史的背景をもつ芸術作品を含む芸術に反応するため、熟考するため、評価するために、芸術に関する用語、知識、技術、美的理解を使用すること</p> <p>・学習者は芸術作品の社会的、文化的、歴史的背景に関する理解を発展させ、芸術を熟考、構成、強化させる方法で分析し文化的価値を要求する。彼らは、社会における芸術の多くの役割を理解する。</p> <p>・学習者は独自の芸術的財産理解し、オーストラリアの芸術に寄与する伝統と文化における差異を認識する。</p> <p>・社会的、文化的、自然環境の芸術は、アジアの学習、環境教育、特有の概念といったような学習者の横断的なカリキュラムの見方の理解を高めるための理想的な手段である。</p>	<p>Band 2 個人的反応を認め異なる文化や時代の芸術を含めながら、地域社会における芸術、芸術作品の明確な特徴、要素について話し合うために、芸術用語を使用する。</p> <p>Band 3 幅広い意見や見方、社会や文化、時代の芸術や芸術家による貢献を認めながら、芸術作品や芸術経験の特徴と要素を熟考するために芸術専門用語を使用する。</p>	記述なし
QLD	<p>記述なし</p>	<p>Year 3 生徒はアボリジニとトレス海峡島民の芸術家、芸術作品、実践の多様性に関する気付きを得る。</p> <p>Year 5 芸術家の過去と現在の経験が、アボリジニとトレス海峡島民の知識、人々、歴史、文化を表す方法に影響を与えること、そしてそれらが固有の芸術作品において価値があることを生徒は認識する。</p> <p>Year 7 生徒たちは創造性、イメーჯ力、社会的文化的歴史的精神的背景に関するアイディアを表現する感覚を使用する。</p>	<p>Year 5 芸術の要素や用語を使用しながら、社会的文化的歴史的背景の影響を認識し解釈することと芸術作品に反応する。</p> <p>Year 7 ・目的を表現するため、他の文化や時代からの影響を含めるために芸術要素を修正し芸術作品を創造し形成する。</p> <p>・芸術の要素や用語を使用しながら、社会的、文化的、歴史的、精神的背景における芸術作品を分析し評価することと、芸術作品に反応する。</p>	記述なし
SA	<p>古今の芸術における背景の影響を熟考することは生徒たちの文化的、社会的、経済的、科学技術的問題の気付きを鋭くする。</p> <p>記述なし</p>	<p>文化的、社会的な違いを理解する。</p>	記述なし	記述なし
TAS	<p>Standard 3 さまざまな社会的、文化的集団における芸術への理解を示す。作品が作られた国や文化の背景、宗教的目的や歴史的観点を認識するのに役立つ手がかりを求めらる。</p> <p>記述なし</p>	記述なし	記述なし	記述なし

<p>記述なし</p>	<p>Level 2 個人の好みや嗜好を認識し、自身の芸術作品に影響し得る特徴に反応し、さまざまな文化や時代の作品間の相違を認識する経験を得るために芸術作品に反応する。</p> <p>Level 3 想像と自他の文化がもたらす芸術のアイディアを調べるためあらゆる芸術要素、原理、技術と過程を使用する方法を選択し組み合わせ試みる。</p> <p>Level 4 さまざまな文化、様式、歴史的背景をもつ芸術作品を含む広範の材料からアイディアの可能性を探求するために、アイディアを生み出す方法や芸術の要素、原理、慣習をうまく扱う方法を想像的に刷新的に経験する。</p> <p>Level 5 あらゆる様式、形式、伝統と文化の芸術作品に対して探究し反応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術の評価において、自身やさまざまな文化や材料からなるものを含む幅広い芸術作品を熟考する。オーストラリア芸術における文化の多様性を認識し評価する。 ・アボリジニのアーティストによる貢献の重要性を認識する。 ・現代オーストラリア芸術が文化の多様性を反映していることを認識する。現代オーストラリア芸術がいかくに伝統芸術に貢献するかがわかる。社会や文化において芸術がどのように発展するかを理解する。 ・アボリジニの芸術がいかにかにオーストラリア社会における芸術に貢献するかを理解する。 ・芸術が時代や場所によってどのように変化するかを理解し、芸術作品の創作や反応において、その歴史的理解や文化的理解を適応させる。特定の時代、場所、文化における芸術活動や芸術作品の特徴を理解する。 	<p>Level 3 自身における、またほかの文化における芸術作品の鍵となる特徴を認識し述べる。</p> <p>Level 5 比較分析評価し、趣旨と、さまざまな社会、文化と歴史的文脈において創られた芸術作品における意味と質、ふさわしい芸術用語の使用を解釈する。さまざまな形式、聴衆、伝統の状況や必要性を述べ、自身や文化的歴史的背景による影響を受けたものを含む現代の芸術作品の方法を認識する。</p>	<p>記述なし</p>
<p>記述なし</p>	<p>K ~ Year 3 現代やアボリジニのアーティストを含むオーストラリアのあらゆる重要な芸術作品を熟考する。</p> <p>よく知られている芸術やアイディアの社会的重要性と文化的重要性を熟考するよう励まされる。</p> <p>Year 3 ~ Year 7 よく知られている芸術経験を乗りこえるよう、幅広い文化の芸術を調べるよう励まされることにより、オーストラリア社会における芸術の意識を拡大するよう導かれる。</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術作品を進展させる過程において、生徒はさまざまな社会的文化的慣習や解釈にとらわれない。 ・生徒たちはアボリジニやトレス海峽島民の芸術とオーストラリア文化への独特の貢献を理解している。彼らは芸術がほかの文化を理解し接近する点、人々がほかの文化に触れ合う点で効果的な方法であると認識する。 	<p>生徒たちは多様で幅広い芸術機会を提示される。それは異なる文化や時代、場所における芸術形式だけでなく、伝統的な地域社会や大衆的な芸術形式も含む。</p> <p>学校と教室の環境は心理的に物理的に安全でなければならず、効果的な学習的な学習環境は、生徒が人種や性別、文化といった敏感な問題を認める。</p>	<p>記述なし</p>
<p>VIC</p>	<p>WA</p>		

音楽分野

	理念	指導上の留意点
NSW	<p>・音楽において、生徒たちは知識と技術、理解を、さまざまな様式の音楽を演奏することによって、そしてさまざまな時代や文化の音楽を歌うこと、演奏すること、動くこと、音概念を構成することに よって発展させる。</p> <p>・さまざまな音楽材を演奏することは、生徒たちの演奏技術の幅を広げ、聴覚を発展させる。材料はポディー パーカッションやファウンドアート、環境音、生徒によって作られた楽器、電子楽器、さまざまな文化の旋 律的或非旋律的な楽器を含む。</p> <p>・声楽（唄や歌のような）、器楽（録音や生演奏）、生徒の作品（または生徒の作品からの短いアイデア） は明確な教授/学習のために選ばれ得る。さまざまな時代、場所、文化からなる広範囲のレパートリーは生 徒に、自己表現、個人意識、文化的アイデンティティ、彼らを取り巻く世界の理解、音楽的概念の理解の発 展を可能にする。さまざまな音楽的な経験を与える。これはアボリジニとトレス海峽民、さまざまな時代と文 化の音楽を含むべきである。伝統的な芸術音楽のレパートリーは生徒のあらゆる発達段階に 効果的に使用され得る。世界中のあらゆるレパートリーを通して、生徒たちは世界における音 楽の重要性を認識すること、音楽がどのように使われているかを学ぶ。レパートリーはアボリジニとトレス 海峽民の伝統的な大衆音楽、さまざまな伝統的な音楽、さまざまな伝統的な民族音楽、現代の大 衆音楽、世界の音楽（多文化的で大衆的な特色を混合した）、子どもによる子どものための音楽（童謡、子 どものために作曲されたうたなど）から作成される。</p>	<p>Early Stage 3 生徒に音楽の選択、音楽の技術と音楽がどのようにに世 界に存在するかという音楽の理解を行う機会を与え る。その理解は、個人と社会文化のグループ（例えば、 コミュニケーションの手段として、表現の手段として） のためにあるさまざまな機能を調べることと、さまざま な文化的で社会的な方法の持つ重要性による。</p>
NT	記述なし	記述なし
QLD	記述なし	記述なし
SA	記述なし	記述なし
TAS	<p>・音楽は個人的、文化的表現の基本的な形である。音楽を通して、我々はほかの文化だけでない、オースト ラリアの多様な文化的遺産に関する見識をもつことができる。</p> <p>・歴史的、文化的、個人的様式の理解の発達を通して、生徒たちは音楽と人々の生活との関係についてより よい理解を図ることができる。</p>	記述なし
VIC	記述なし	記述なし
WA	生徒たちは幅広い音楽形態と様式を経験する。彼らはオーストラリア音楽と他の生徒が作った音楽を含めた さまざまな文化と時代からレパートリーを経験する。これらは生徒自身の創造的活動に反映される。	記述なし

学習内容の詳細

	歌唱	演奏/表現	聴取	創作	思考	その他
NSW	<p>さまざまな文化の 伝統的な、あまり 知られていない楽 器が使われた音楽 を聴く。</p>	<p>さまざまな時代や 文化の音楽に対し て動く(多文化の、 大衆的な、古典的 な音楽)。</p>	記述なし	記述なし	<p>・さまざまな文化の音楽を聴き、歌における特有 の種類の効果について話し合う。</p> <p>・アボリジニとトレス海峽島民社会の音楽を聴き 歌い、彼らの目的を熟考する。</p> <p>Stage 3</p>	<p>記述なし</p> <p>さまざまな文化背景における音楽の役割について 話し合う。例、儀式的で神聖な行事、物語を語る。</p>

	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし
NT				<p>Band 1</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い歌、器楽音楽を聴き、その特徴を特定の文化の特色とつなげる（例、アボリジニの音楽、インドネシアのガムラン、スコットランドのバグパイプ）。 地域社会や文化圏で聴かれる特定の音楽演奏を認識し述べる。 <p>Band 2</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽の特徴がどのように様式を明確にし、個人の好嫌を決定するのか説明しながら、文化的社会的集団を含む音楽様式の特徴を、認識し、特色づけ、話し合う。 地域社会や文化における音楽演奏の背後にある目的、歴史、伝統を認識する。 さまざまな文化的な音ともにもたらされる現代固有の音楽を探究する。 <p>Band 3</p> <p>地域社会や文化における、特定の音楽演奏の背後にある目的、歴史、伝統を説明する。</p>	記述なし
QLD	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし
SA	<p>Year 1</p> <p>幅広い文化や言語のチャントや歌を含め、グループの一員として、またはパートナーとともに、記憶にある歌を歌う。</p>	<p>Year 1</p> <p>幅広い文化背景をもつ楽器演奏を経験する。</p>	<p>Year 1</p> <p>さまざまな音楽様式と楽器の理を証明する（オーケストラ、弦楽器、ジャズ、現代的な文化的な、絵を描く、幅広い演奏を聴く。</p>	<p>Year 1</p> <p>文化的なお祝いや祭典のための発表を創る。</p>	<p>Year 2</p> <p>さまざまな文化の音楽を認識し、何が音の違いを生み出しているかを述べる。</p> <p>Year 3</p> <p>音楽がさまざまな場所や自分の文化の重要な部分を示す場面で使用されていることを認識する。</p> <p>Year 4</p> <p>さまざまな文化の楽器と音楽の特徴を調べ記録、記述する（アフリカの、伝統的なオーストラリアアボリジニの、メキシコの、東欧の、日本の）。</p> <p>Year 5</p> <p>あらゆる背景における演奏の差異を認識し議論する（ステージでビデオパフォーマンスを見る、オーケストラリサイタル、ポップコンサート、文化的演奏）。</p>

TAS	Standard 1 他の文化の歌を歌う。	記述なし	記述なし	記述なし	Standard 3 作品の鍵となる音楽的特徴を認識し、特定の文化と結びつける。	・創作、聴取、演奏活動をとおして、さまざまな様式、ジャンル、背景（文化的、歴史的、社会的）の音楽作品調べる。 ・ソロとアンサンブル両方のレパートリーを開発する。目的、意図をもった演奏、作曲された社会的文化的歴史的背景を理解できるようになる。 Standard 2 音楽を作るために家族と地域社会の文化経験を取り出す。
VIC	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし
WA	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし	記述なし